

インデックスファンドMLP (1年決算型)

追加型投信／海外／その他資産／インデックス型

交付運用報告書

第9期(決算日2023年11月20日)

作成対象期間(2022年11月22日～2023年11月20日)

| 第9期末(2023年11月20日) | |
|-------------------|----------|
| 基準価額 | 11,078円 |
| 純資産総額 | 1,758百万円 |
| 第9期 | |
| 騰落率 | 14.2% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンドMLP(1年決算型)」は、2023年11月20日に第9期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数に連動する投資成果をめざして運用を行なっておりまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<642649>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

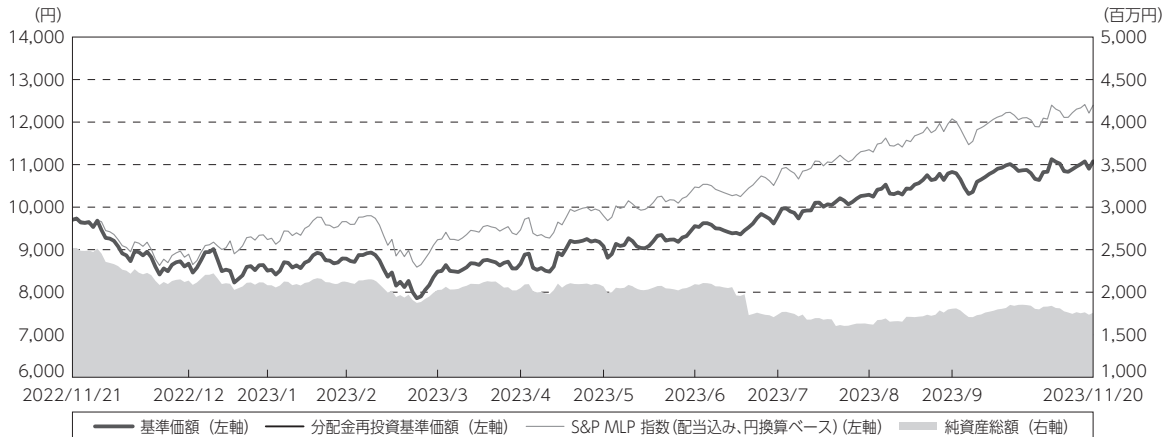
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年11月22日～2023年11月20日)



期首：9,703円

期末：11,078円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：14.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびS&P MLP 指数 (配当込み、円換算ベース) は、期首 (2022年11月21日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) S&P MLP 指数 (配当込み、円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の長期金利が低下したこと (期間の初め～2023年3月中旬)。
- ・主要MLPが分配金を増額したこと。
- ・円安/アメリカドル高となったこと。

<値下がり要因>

- ・原油価格が下落したこと。
- ・大手格付け会社が米国国債の格付けを引き下げたことや、中国経済の先行き不透明感およびユーロ圏の景気後退観測の高まりなどによる世界経済の減速懸念、中東情勢を巡る不透明感を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・MLP売却益などに関する税金。

1万口当たりの費用明細

(2022年11月22日～2023年11月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------|-------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 77 | 0.823 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (36) | (0.384) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (36) | (0.384) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| (受 託 会 社) | (5) | (0.055) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 5 | 0.050 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (投 資 信 託 証 券) | (4) | (0.046) | |
| (リミテッドパートナー(出資金)) | (0) | (0.004) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 0 | 0.001 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (投 資 信 託 証 券) | (0) | (0.000) | |
| (リミテッドパートナー(出資金)) | (0) | (0.000) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 665 | 7.061 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (10) | (0.103) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷 費 用 等) | (9) | (0.093) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標準使用料など |
| (そ の 他) | (646) | (6.860) | その他は、MLP投資に係る税金費用 [*] 、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 747 | 7.935 | |
| 期中の平均基準価額は、9,414円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

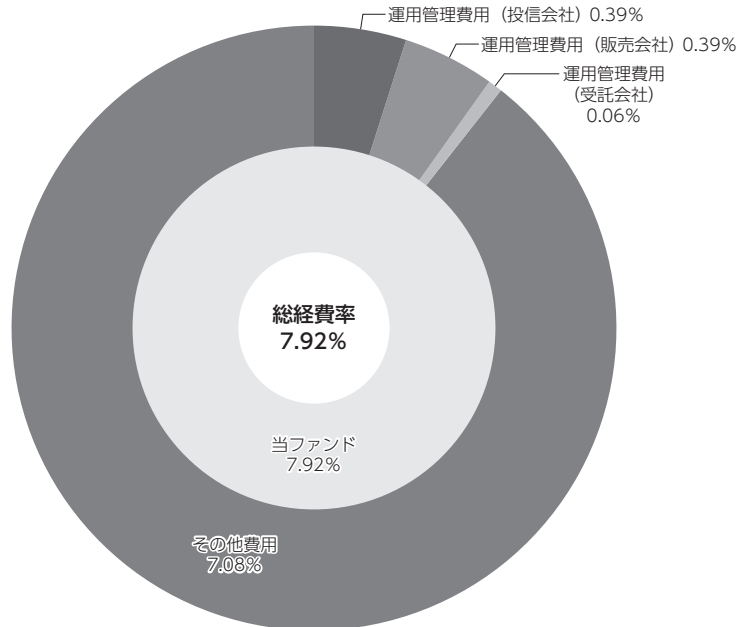
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※米国において、過年度のMLP売却に伴ない、欠損金を大きく上回る譲渡益が発生したことによる追加納税

（参考情報）**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は7.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月20日～2023年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびS&P MLP 指数(配当込み、円換算ベース)は、2018年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2018年11月20日 決算日 | 2019年11月20日 決算日 | 2020年11月20日 決算日 | 2021年11月22日 決算日 | 2022年11月21日 決算日 | 2023年11月20日 決算日 |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 5,867 | 4,949 | 3,753 | 5,771 | 9,703 | 11,078 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 15.6 | △ 24.2 | 53.8 | 68.1 | 14.2 |
| S&P MLP 指数(配当込み,円換算ベース)騰落率 (%) | — | △ 13.5 | △ 26.2 | 59.1 | 68.2 | 27.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 2,993 | 2,004 | 1,972 | 1,768 | 2,519 | 1,758 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) S&P MLP 指数(配当込み、円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2022年11月22日～2023年11月20日)

(MLP市況)

米国MLP市況において、S&P MLP 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2023年3月中旬にかけては、米国連邦準備制度理事会（FRB）高官が利上げ幅の縮小を示唆し米国の長期金利が低下したことが支援要因となったものの、中国における新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感などを背景に原油価格が下落したことや、FRBによる政策金利の引き上げ継続による世界的な景気悪化が懸念されたこと、米国の地方銀行の経営不安が高まったことなどを受けて、同指数は下落しました。3月下旬から期間末にかけては、大手格付け会社が米国国債の格付けを引き下げたことや、中国経済の先行き不透明感およびユーロ圏の景気後退観測の高まりなどによる世界経済の減速懸念、中東情勢を巡る不透明感を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが同指数の下落要因となったものの、米国連邦政府の債務上限を停止する法案が可決され、懸念された債務不履行（デフォルト）が回避されたことや、主要産油国による積極的な減産が続き原油価格が上昇したこと、米国のインフレ指標が市場予想を下回りFRBの追加利上げ観測が後退したことを受けて投資家心理が改善したこと、主要MLPが分配金を増額したことなどが支援要因となり、同指数は上昇しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.27%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2022年11月22日～2023年11月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(インデックス マザーファンド MLP)

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P MLP 指数（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

なお、2023年1月の基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率と乖離しました。これは、米国における過年度分のMLP売却益などに関する追加納税を行なったためです。具体的には、2023年1月17日までに3回の支払いを行ない、追加納税を完了いたしました。追加納税がマザーファンドの基準価額の押し下げ要因（-5.7%、3日分の合計）となりました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月22日～2023年11月20日)

期間中における基準価額は、14.2%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P MLP 指数（配当込み、円換算ベース）」の上昇率27.8%を概ね13.6%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

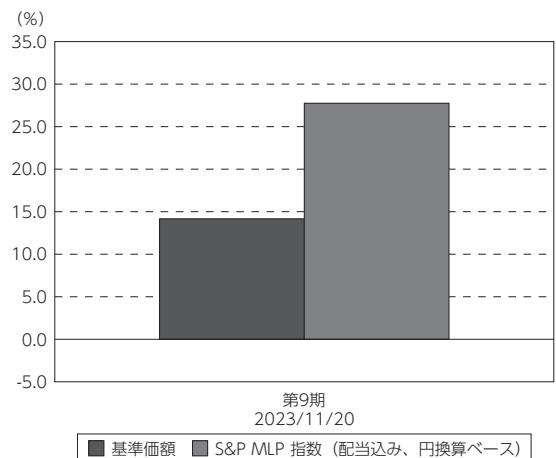
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カストディ・フィー、売買手数料、税務申告などの諸費用。
- ・MLP売却益などに関する税金。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P MLP 指数（配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2022年11月22日～2023年11月20日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第9期 |
|-----------|-----------------------------|
| | 2022年11月22日～ 2023年11月20日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 5,919 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(インデックス マザーファンド MLP)

引き続き、ベンチマークである「S&P MLP 指数（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2022年11月22日から2023年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

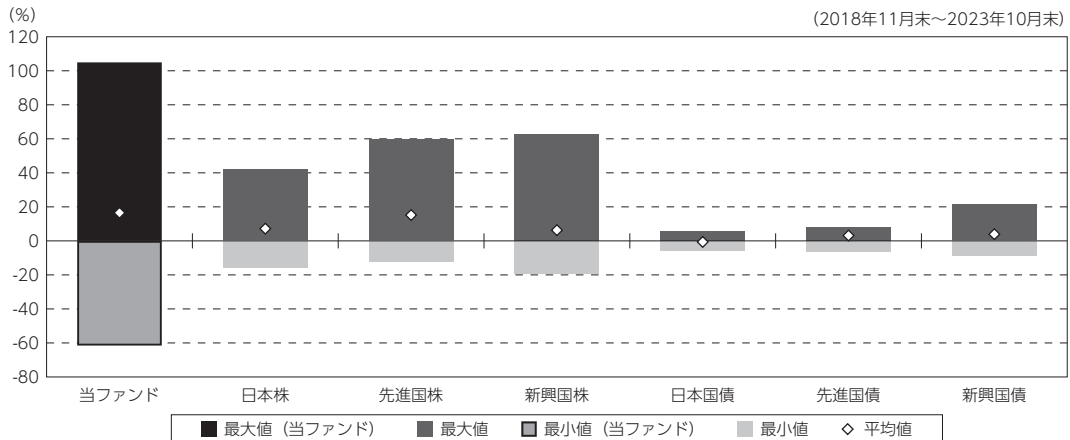
当ファンドについて、運用目標とするベンチマークを構成する指数につき「S&P MLP 指数 (円換算ベース)」を採用しておりました。このたび、当該ベンチマークが「配当込み」の値動きであることを明確化するため、そのベンチマーク表記を「S&P MLP 指数 (配当込み、円換算ベース)」に変更すべく、2023年8月22日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表)

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|-------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信/海外/その他資産/インデックス型 | |
| 信託期間 | 2014年11月12日から原則無期限です。 | |
| 運用方針 | 主として、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP 指数（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | インデックスファンドMLP（1年決算型） | 投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| | インデックス マザーファンド MLP | MLP やMLP に関連する証券を主要投資対象とします。 |
| | マネー・アカウント・マザーファンド | わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。運用にあたって、対象指数に採用されていないMLP等についても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されているMLP等の一部または全部の値動きに連動を目指す上場投資信託証券や債券などに投資する場合もあります。原則として、為替ヘッジは行ないません。 | |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 104.9 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 5.4 | 7.9 | 21.5 |
| 最小値 | △ 61.5 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 8.8 |
| 平均値 | 16.5 | 7.2 | 15.2 | 6.3 | △ 0.6 | 3.1 | 3.9 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●S&P MLP 指数 (配当込み、円換算ベース)

[S&P MLP 指数] は、ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するMLPなどのうち、GICS (世界産業分類基準) においてエネルギーセクターまたは公益事業セクターのガス産業に属する銘柄を対象とした、浮動株調整後の時価総額加重を基本とする指数です。同指数の (配当込み、円換算ベース) とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発行している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが発行している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

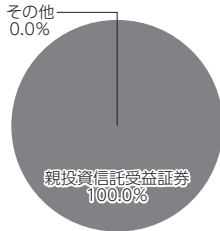
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第9期末 |
|--------------------|-------|
| インデックス マザーファンド MLP | 99.9% |
| マネー・アカウント・マザーファンド | 0.0% |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

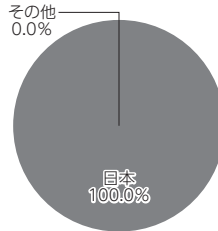
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

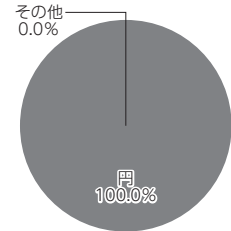
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

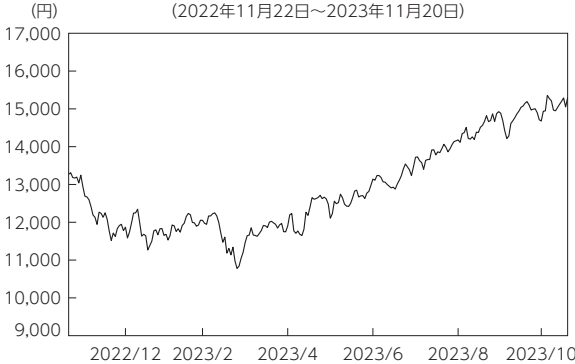
| 項目 | 第9期末 |
|------------|----------------|
| | 2023年11月20日 |
| 純資産総額 | 1,758,421,066円 |
| 受益権総口数 | 1,587,355,944口 |
| 1万口当たり基準価額 | 11,078円 |

(注) 期中における追加設定元本額は708,286,382円、同解約元本額は1,717,398,520円です。

組入上位ファンドの概要

インデックス マザーファンド MLP

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

| 項目 | 当期 | |
|--|----------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (リミテッドパートナー(出資金)) | 6 (6) (0) | 0.050 (0.047) (0.003) |
| (b) 有価証券取引税 (投資信託証券) (リミテッドパートナー(出資金)) | 0 (0) (0) | 0.001 (0.000) (0.000) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 850 (15) (835) | 6.568 (0.115) (6.453) |
| 合計 | 856 | 6.619 |

期中の平均基準価額は、12,936円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

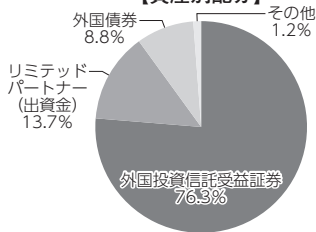
【組入上位10銘柄】

(2023年11月20日現在)

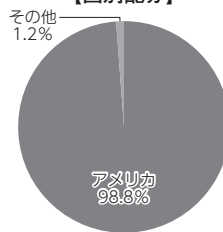
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|----|------------------------------------|-----------------|--------|-------|------|
| 1 | ALERIAN MLP-ETF | 投資信託受益証券 | アメリカドル | アメリカ | 76.3 |
| 2 | ETRACS ALERIAN INF-ETN 0% 2040/4/2 | 普通社債券 | アメリカドル | アメリカ | 8.8 |
| 3 | ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 4.4 |
| 4 | ENERGY TRANSFER-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 3.0 |
| 5 | BLACK STONE MINERALS-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 2.0 |
| 6 | PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 1.9 |
| 7 | SUNOCO LP-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 1.7 |
| 8 | ALLIANCE RESOURCE PARTNERS-LP | リミテッドパートナー(出資金) | アメリカドル | アメリカ | 0.7 |
| 9 | - | - | - | - | - |
| 10 | - | - | - | - | - |
| | 組入銘柄数 | | 8銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

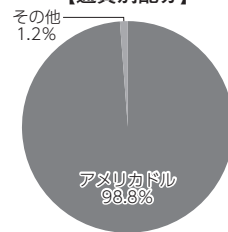
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



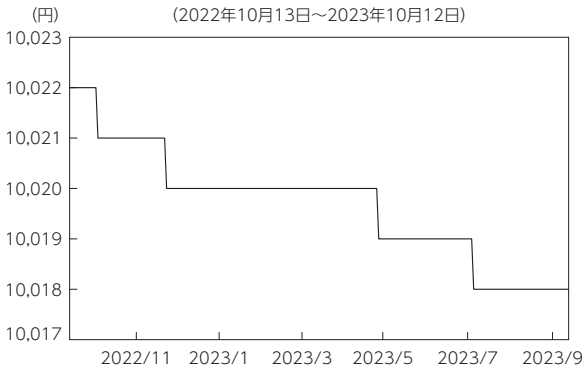
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年10月13日～2023年10月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月13日～2023年10月12日)

| 項 目 | 当 期 | |
|----------------------------|----------|------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合 計 | 0 | 0.000 |

期中の平均基準価額は、10,019円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2023年10月12日現在)

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。